

2022

Peach

Kokorozasi

School

Plus



はじめに

Peach Women's Business School Professional
×
Peach kokorozasi school

ブラッシュアップさせたものが **Peach Kokorozasi School Plus**

2020年1月から世界を震撼させている新型コロナウイルス感染症は、予測できない出来事であり、経済の動きを止めるだけでなく、人々の健康を奪い、心までも蝕む恐ろしいウイルスとなりました。このような中でも人々は、何とかこの未曾有の出来事に立ち向かい、新しい産業を生み出そうとする力を持っています。

そんな中ピーチコーポレーションでは、潜在的な力を引き出し、気づきを与え、異業種との協業を行うことで革新的イノベーションを起こすきっかけ作りとなることを願って、2022年度からPeach Kokorozasi School Plusを開講することにいたしました。

2021年度まで行っておりました、Peach kokorozasi schoolはイノベーション人材を育成することを目的とし、2017年から開講しておりました。これから会社を担っていく人材や志の高い方が、様々なテーマの講演を聴講して、活発な議論を交わし、研修後のレポートを提出することで考えをまとめ、更に高い志を抱いていただきました。

受講生にとっては、今まで考えたことがなかったことを熟考する機会となったことで、意識改革に繋がり、何よりも**異業種との交流によって**今後の自分の在り方や考え方が変わったとの声が多く聞かれました。

今年度から開講する **Peach Kokorozasi School Plus** は+多様性、+持続可能性、など多くの「プラス」が生まれるビジネススクールを目指していきます。

学びに消極的な日本人

令和元年8月のパーソナル総合研究所の調べでは、APAC14か国の平均でアジア諸国と比較して日本では社会に出てから継続的な学習や自己研鑽をすることに対して消極的であるとの結果報告がされています。

「何もしていない」と答えた割合は**APAC平均13.3%に対して46.3%**でありました。

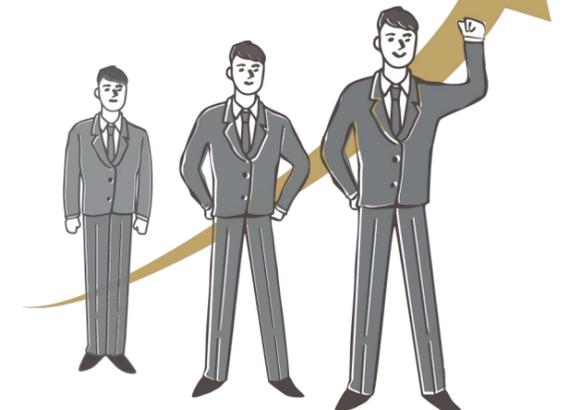
内閣府が発表したSociety5.0時代の教育・人材育成のあるべき方向性では、自己決定力を持つ人材の育成①「探求心」や「好奇心」②「学び続ける姿勢」の強化が挙げられています。高等教育段階以降社会人段階に入った際、自己研鑽に頼った個人任せの学び直しの提案がなされており、そこには、複数回にわたる新たな知の取り込みが挙げられています。

イノベーションを起こす人材に求められるもの

探求心
好奇心
向上心
発言力
発信力
表現力
創造力
巻き込み力

そのためには

- ✓ 広い視野を身に付ける
- ✓ 新しい気づきの場を持つ
- ✓ 多くの経験を積む
- ✓ 多くの出会いを持つ

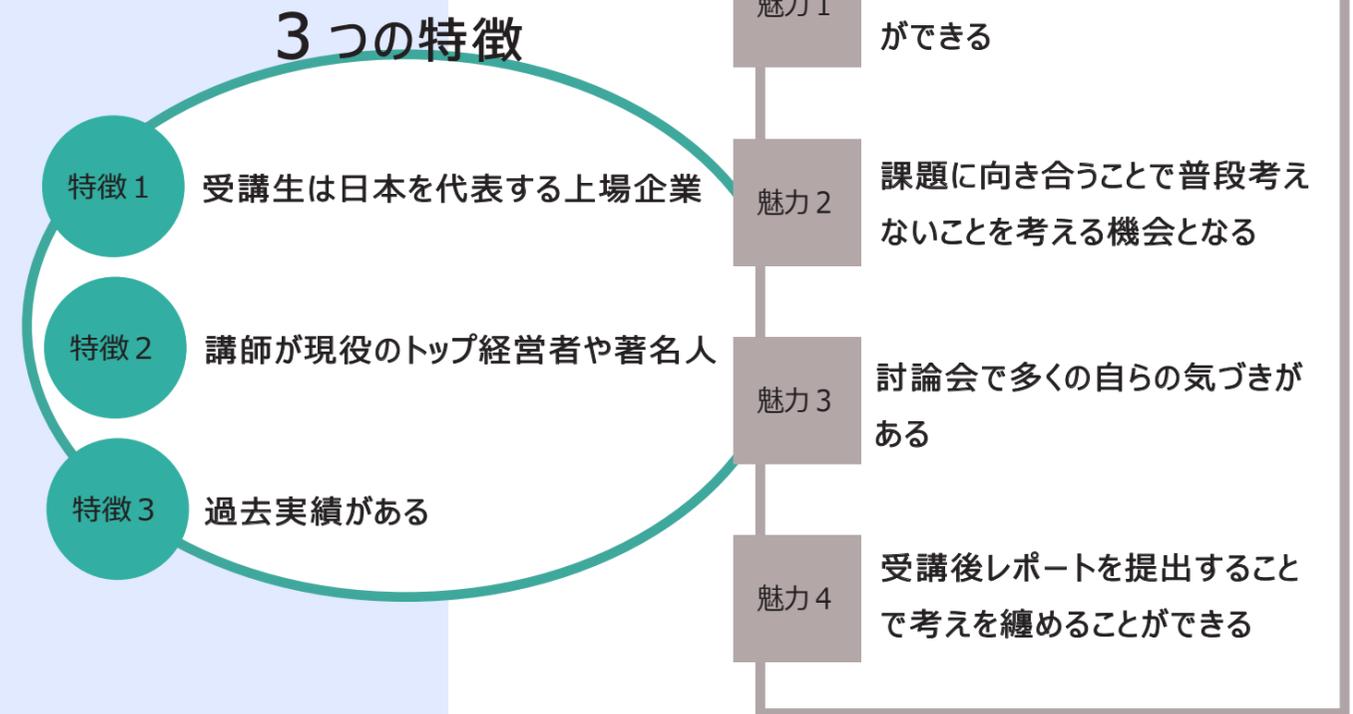


研修での効果をもとめるために

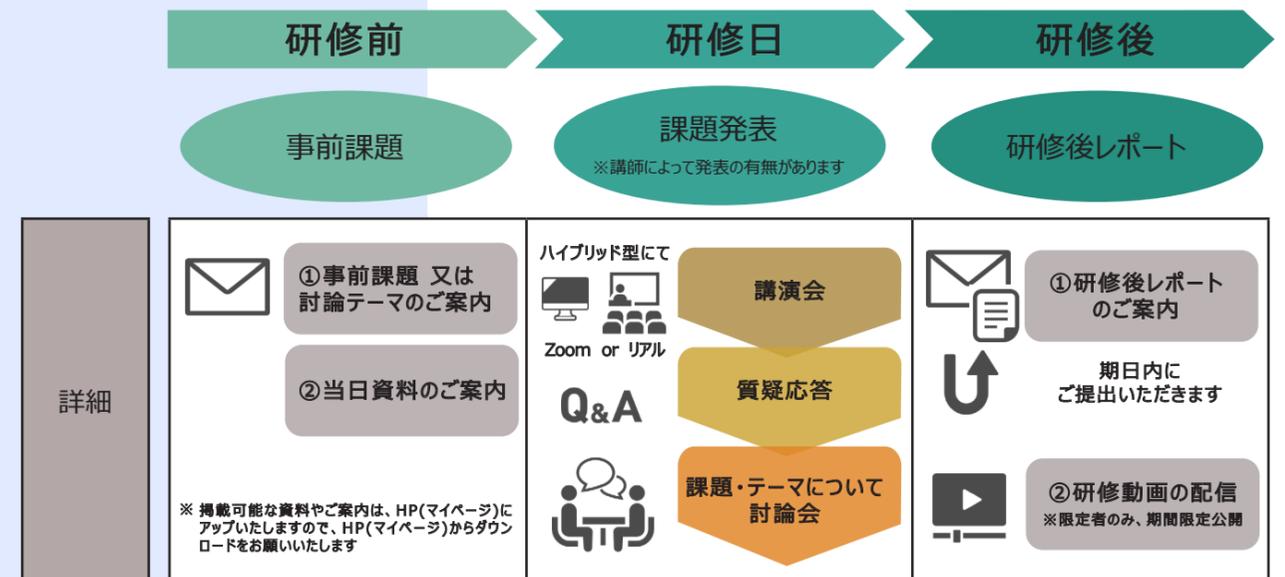
ダイバーシティ&インクルージョンを目指して
多様な組み合わせでの受講をお勧めします



特徴&魅力



研修スタイル



年間カリキュラム



	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	
日程	5月 13:00~17:00	6月 14:00~17:00	7月 14:00~17:00	9月 14:00~17:00	10月 1泊2日		11月 14:00~17:00	12月 14:00~17:00	1月 14:00~17:00	2月 14:00~17:00	3月 13:00~17:00	
タイトル	開講式 ・ 基調講演	世界と日本	アフターコロナを見据えた日本・関西復活について	日本を元気にする方法	みらいをかえる次世代の人材育成	マーケティング	次の時代へ挑戦する長浜のまちづくり	変容するライフスタイルとビジネスモデルの破壊・再生 ～新型コロナとDXは何をもたらすか～	「戦略的思考」で読み解くビジネスと社会	企業価値	国際社会の中の日本 日本の中の国際社会	成果発表会 ・ 修了式
講師	株式会社 Sunday Monday 代表取締役 村野 明子	スタンフォード大学 フーヴァー研究所 フェロー 西 鋭夫	大阪観光局 理事長 (大阪観光局長) 溝畑 宏	京大医学研究科附属がん免疫総合研究センター (CCII) センター長 公益財団神戸医療産業都市推進機構理事長 本庶 佑	大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 未来医療学寄附講座 教授 大阪警察病院 院長 澤 芳樹	株式会社竹中工務店 執行役員副社長 難波 正人	長浜まちづくり株式会社 常務取締役 竹村 光雄	関西文化経済研究所 代表 西日本電信電話株式会社 元代表取締役社長 大竹 伸一	大阪大学大学院 経済学研究科 准教授 安田 洋祐	株式会社日本総合研究所 調査部 マクロ経済研究センター所長 石川 智久	エルドリッチ研究所 代表・政治学博士 ロバート・D・エルドリッチ	
開催方法	リアル	ハイブリッド	ハイブリッド	ハイブリッド			フィールドワーク	ハイブリッド	ハイブリッド	ハイブリッド	ハイブリッド	リアル

※ 研修の日付は、別紙にてご案内いたします
テーマ・開催方法等の内容は、変更する場合がございます

講師紹介

Peach Women's Business School と合同

5月 開講式・基調講演



株式会社Sunday Monday
代表取締役

村野 明子氏

講演タイトル

「5食の栄養

カラフルワンプレート」

経歴

化粧品会社勤務を経て出産を機に退社し専業主婦であったが夫に「ちょっと選手達にバランスいいごはんを食べさせてやって。」という無茶ぶりを真に受け2003年から6シーズン、コンサドーレ札幌の寮母を務め、2009年Jリーグ、ヴィッセル神戸育成センター「三木谷ハウス」完成と共に、選手たちの健康面を全面的にサポート

2019年から給食会社 株式会社Sunday Monday を起業しJリーグセレッソ大阪の寮母となる現在は、寮生以外にも、トレーニングを終えた1日約100人の選手たちに向けて食事を提供し、選手たちのカラダ作りを完全サポート

主婦感覚を大切に、栄養のバランスを取りながら見た目も鮮やかな食事を提供することを心がけている

6月 世界と日本



スタンフォード大学フーヴァー研究所
フェロー

西 鋭夫 氏

経歴

1941年大阪に生まれる

関西学院大学文学部卒業後、

1968年にワシントン大学大学院にて修士号を取得

1968年から1971年まで、ジェイ・ウォルター・トンプソン・ジャパンに勤務その後、1976年にワシントン大学大学院にて博士号(国際政治・教育学)を取得

1977年、米国第33代大統領・トルーマン大統領図書館よりトルーマン学術奨学金(Harry S. Truman Scholarship)、ジーン&ポール・ハナ学術奨学金(Jean & Paul Hanna Endowment Scholarship)を得て、

1977年から1985年まで、スタンフォード大学フーヴァー研究所博士研究員1985年以降、NHKラジオ「NHKジャーナル」シアトル通信員、麗澤大学国際経済学部教授、日本大学大学院総合科学研究科教授、日本大学国際関係学部教授等を歴任

現在(2016年12月現在)は、日本人として唯一のフーヴァー研究所研究員である他、モラロジー研究所特任教授、滋慶学園教育顧問等を務める2016年3月、スタンフォード大学フーヴァー研究所初となる日本人による冠講座「日本近現代歴史基金」の初代フェローに就任

出版物

「美学の國を壊した明治維新」第9回「真の近現代史観」懸賞論文:近現代史研究支援アパ日本再興財団主催 最優秀藤誠志賞受賞論文 2016年『マッカーサーの「犯罪」(上)(下)』日本工業新聞社・大手町ブックス 1983年

『富国弱民・ニッポン』麗澤大学出版会 1996年

『國破れてマッカーサー』中央公論新社 1998年 2005年 同社にて文庫化

『日米魂力戦 一敗けるなニッポンー』中央公論新社 2003年

『新説・明治維新』ダイレクト出版 2016年

7月 アフターコロナを見据えた日本・関西復活について



大阪観光局 理事長(大阪観光局長)

溝畑 宏 氏

経歴

1960年京都府生
1985年東京大学法学部卒業、自治省入省
2002年大分県企画文化部長
2004年(株)大分フットボールクラブ代表取締役
2008年Jリーグナビスコ杯優勝
2010年国土交通省観光庁長官
2012年内閣官房参与、大阪府特別顧問、京都府参与
2015年大阪観光局理事長(大阪観光局長) 大阪府市都市魅力戦略推進会議 委員
2017年大阪府・大阪市IR推進会議 座長。大阪・関西スポーツツーリズム&MICE推進協議会 会長

受賞歴

2002年9月 2002年ワールドカップ日韓開催功労賞
(韓国サッカー協会より)
2010年11月 ベストドレッサー賞
2012年1月 経済界大賞
2021年2月 WEIBO ACCOUNT FESTIVAL IN TOKYO 2020ベスト
観光都市賞

主な出演歴

フジテレビ 「報道2001」「バイキング」
日本テレビ 「真相報道バンキシャ」「news zero」
テレビ朝日 「モーニングバード」「ビートたけしのTVタックル」
TBS 「あさちゃん」「報道特集」
テレビ東京 「カンブリア宮殿」「ワールドビジネスサテライト」
NHK 「日曜討論」「クローズアップ現代」「かんさい熱視線」
読売テレビ 「ウェークアッププラス」「ミヤネ屋」「そこまで言って委員会」
「特盛よしもと」

著書

「溝畑流・日本列島観光論 逆転こそNippon!」(講談社)
「爆走社長の天国と地獄 大分トリニータV.S.溝畑宏」木村元彦著
(小学館新書)

9月 日本を元気にする方法



京大医学研究科附属がん免疫総合研究センター(CCII)
センター長

公益財団神戸医療産業都市推進機構理事長

本庶 佑 氏

(2018年 ノーベル生理学・医学賞 受賞者)

経歴

1942年生まれ 医学博士
京大医学研究科博士課程修了後、米国のカーネギー研究所、NIHで
客員研究員
1974年帰国、東大医学部助手、大阪大医学部教授等を経て、1984
年京大医学部教授
以降、京大遺伝子実験施設長、京大医学研究科長、医学部長に就任
2005年退官後に京大医学研究科特任教授
2017年5月より京大高等研究院特別教授
2018年4月より同副院長
2020年4月より京大医学研究科附属がん免疫総合研究センター
(CCII)センター長
2015年7月より公益財団神戸医療産業都市推進機構理事長

その他、高等教育局科学官、日本学術振興会学術システム研究セン
ター所長、内閣府総合科学技術会議議員、静岡県公立大学法人理
事長を歴任
日本学士院会員

受賞歴

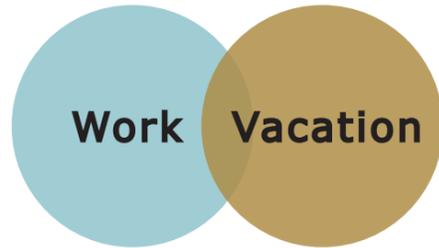
1996年恩賜賞・学士院賞、2000年度文化功労者、2012年ロベルト・
コッホ賞、2013年文化勲章、2014年唐奨(Tang prize)、2016年京
都賞、2018年日本医師会最高優功賞、2018年ノーベル生理学・医学
賞、2019年アメリカ癌研究会(AACR)フェロー、2019年イギリス生理
学会 名誉会員、2019年スペイン王立医学アカデミー名誉会員のほ
か、2019年京都府特別栄誉賞、京都市名誉市民など、受賞・受章多数

著書

著作に、一般読者向けの『遺伝子が語る生命像』(講談社ブルーバッ
クス)、『いのちとは何かー幸福・ゲノム・病』(岩波書店)、『がん免疫
療法とは何か』(岩波新書)、『幸福感に関する生物学的随想』(祥伝
社新書)のほか、専門論文多数

10月 ワークেশョン

ワークেশョンとは



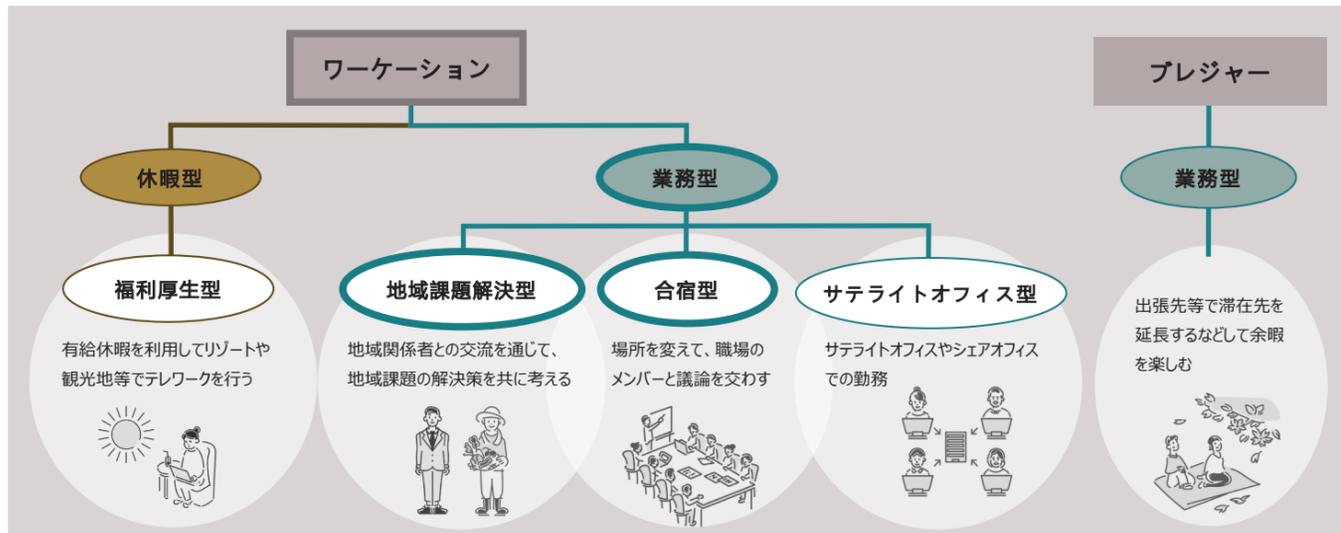
「Work (ワーク)」と「Vacation (バケーション)」の造語ですが、ワークেশョンにも下記の図のように様々なスタイルがあります。

今年度の Peach Kokorozasi School Plus には、普段の環境とは違う場所に身を置くことで

01 非日常 からの
新しい発想 が期待できる

02 受講生同士で 寝食を共にする ことで
より充実したコミュニケーション を取ることができる

と考え、カリキュラムに **地域課題解決型×合宿型のワークেশョン** を取り入れました。

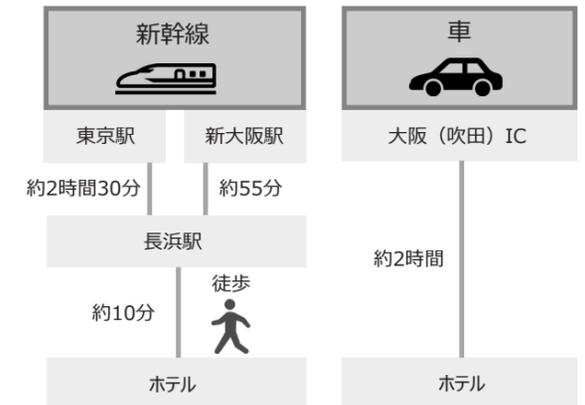


Peach Kokorozasi School Plusのワークেশョンでは、地方創生を意識したカリキュラムを導入しており、地域の取り組みを学ぶことで常に問題意識を持つことの重要性を体感し、そのための解決方法も併せて考えることを促します。またリゾート地を利用することで、オンとオフの切り替えや時間管理、自分自身のリフレッシュ方法などの自己管理能力を高めます。更に心と体の疲れを解消することで、回復力を身に付け、モチベーションの保ち方や上げ方などの方法を体感することができますと考えています。



アクセス

〒526-0066
滋賀県長浜市大島町38



▶ ワークেশョン1日目 午後

10月 未来をかえる 次世代の人材育成

大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻
未来医療学寄附講座 教授
大阪警察病院 院長

澤 芳樹 氏

経歴

1980年大阪大学医学部卒業、第一外科入局
1989年～1991年ドイツMax-Planck研究所心臓生理学部門、心臓外科部門に留学
帰国後大阪大学医学部第一外科講師、助教授
2006年～大阪大学大学院医学系研究科心臓血管外科主任教授、現在に至る

大阪大学医学部附属病院未来医療センター長、大阪大学臨床医工学融合研究教育センター長、附属病院副病院長、未来医療開発部長、ハートセンター長、国際医療センター長、医学系研究科研究科長・医学部長なども歴任日本再生医療学会 理事長、日本胸部外科学会 理事長、国際臨床医学会 代表理事、日本外科学会 理事、日本循環器学会 理事、日本心臓血管外科学会 評議員なども兼任中

受賞歴

2020年紫綬褒章受章



▶ ワークーション2日目 午前

10月 マーケティング

株式会社竹中工務店
執行役員副社長

難波 正人 氏

経歴

1973年 株式会社竹中工務店入社
同社東京本店設計部を経て、1976年10月より開発計画本部(大阪)に所属
2001年開発計画本部長、2002年役員補佐、2003年取締役、
2007年常務取締役、2013年取締役専務執行役員、2015年取締役執行役員
副社長(現職)

その間、主として大型開発プロジェクト、ホテル関連プロジェクトに従事
主たる担当プロジェクトは、OBPホテルニューオータニ、志摩スペイン村、京
セラドーム大阪、ヒルトン大阪、ハービス大阪、ヒルトンプラザウエスト、ハービ
スエント、ほたるまち、グランフロント大阪、あべのハルカス、フェスティバルタワ
ー(イースト、ウエスト)、大阪梅田ツインタワーズ(サウスゲート)、うめきたⅡ期
等を担当

現在は、西日本統括業務の他、関西生産性本部、関西経済連合会、関西経済同
友会等の財界活動やMICE・IR、大阪万博などに注力



高度経済成長期からバブル期にかけて、全国の地方
都市が危機的な空洞化に直面する中、歴史ある町並み
の活用と魅力的な商業コンテンツの集積によって一躍
脚光を浴びた長浜のまちづくり。尚も続く厳しい時代変
化に翻弄される中、2009年に行政と民間の共同出資に
よって設立された長浜まちづくり株式会社は、長浜方式
のまちづくりを発展的に承継しながら次代に相応しいプ
ロジェクトを相次いで仕掛けています。

コロナ禍を大きな契機として変化するローカルのまち
づくりの前線の状況について、体験と多角的なディスカ
ッションを行います。キーポイントは地域社会の内なる
課題と可能性の冷静な把握と、広い世界と接続するアク
セスポイントのマネジメントです。



▶ ワークーション2日目 午後

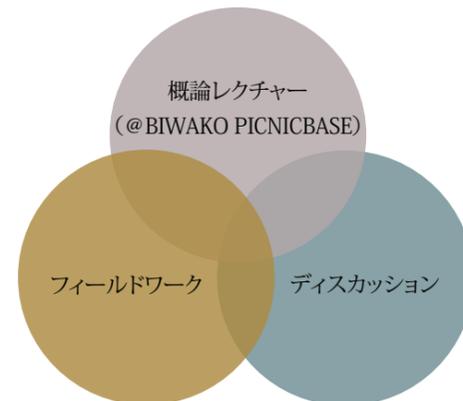
10月 次の時代へ挑戦する
長浜のまちづくり

長浜まちづくり株式会社
常務取締役

竹村 光雄 氏

経歴

1982年 茨城県日立市生まれ
2007年 千葉大学大学院自然科学研究科修了/都市計画専攻
2007年 都内都市計画コンサルティング会社勤務/複数地方都市
における中心市街地再生事業に従事
2012年 長浜まちづくり株式会社入社/プロジェクト企画・ディレクション
ハードとして伝統的町家・路地・水路など都市空間の再生と、
ソフトとしてコミュニティの醸成とマネジメントを両輪で進める
2020年 常務取締役に就任



官民連携まちづくり研究会(京都大学) 委員
近畿中心市街地ネットワーク研究会 副会長

11月 変容するライフスタイルとビジネスモデルの破壊・再生
～新型コロナとDXは何をもたらすか～



関西文化経済研究所 代表
西日本電信電話株式会社
元代表取締役社長

大竹 伸一 氏

経歴

京都大学工学部 卒業

経歴

1971年 日本電信電話公社 入社
2004年 常務取締役 ソリューション営業本部長
2007年 代表取締役副社長 戦略プロジェクト 推進本部長に就任
2008年 代表取締役社長に就任
2012年 取締役相談役
2018年7月から現職

そのほかの公職としては、

株式会社大阪国際会議場 取締役
国立大学法人大阪大学 経営協議会委員
社団法人関西経済同友会 代表幹事
全国経済同友会 震災復興部会 共同部会長
国立大学法人京都大学 経営協議会委員を歴任後、
株式会社大林組 取締役
一般財団法人 電気通信協会 理事・西日本支部長
公益社団法人関西経済連合会 副会長を歴任している

12月 「戦略的思考」で読み解くビジネスと社会



大阪大学大学院経済学研究科
准教授

安田 洋祐 氏

1980年東京都生まれ

学歴

2002年に東京大学経済学部を卒業
最優秀卒業論文に与えられる大内兵衛賞を受賞し経済学部卒業生総代
となる
米国プリンストン大学へ留学して2007年にPh.D.を取得(経済学)
政策研究大学院大学助教授を経て、2014年4月から現職

経歴

専門は戦略的な状況を分析するゲーム理論
主な研究テーマは、現実の市場や制度を設計するマーケットデザイン
「American Economic Review」など国際的な経済学術誌に論文を多数発表
学術研究の傍らマスメディアを通じた一般向けの情報発信や、政府での委
員活動にも積極的に取り組んでいる
関西テレビ「報道ランナー」、読売テレビ「情報ライブ ミヤネ屋」、テレビ東京
「ワールドビジネスサテライト」などの番組にコメンテーターとして出演中
財務省「理論研修」講師、金融庁「金融審議会」専門委員、環境省「中央環
境審議会」専門委員、自民党「未来戦略研究会」アドバイザーなどを務めた

編著

『改訂版 経済学で出る数学 高校数学からきちんと攻める』
(日本評論社、2013年)
『学校選択制のデザイン ゲーム理論アプローチ』
(NTT出版、2010年)
監訳に『レヴィット ミクロ経済学 発展編』
(東洋経済新報社、2018年)
『入門 オークション:市場をデザインする経済学』
(NTT出版、2017年)
共著に『資本主義はどこに向かうのか—資本主義と人間の未来』
(日本評論社、2019年) など

1月 企業価値



株式会社日本総合研究所
調査部 マクロ経済研究センター所長

石川 智久 氏

経歴

東京大学経済学部卒業

職歴

1997年4月 (株)住友銀行入行後、(株)日本総合研究所調査部
(社)日本経済研究センター出向
(株)三井住友銀行経営企画部金融調査室を経て、
2014年4月 (株)三井住友銀行経営企画部金融調査室(大阪)次長に就任
2017年7月 (株)日本総合研究所 調査部 関西経済研究センター長に就任
2019年7月より現職

資格

日本証券アナリスト協会検定会員(CMA)

所属学会

日本経済学会、日本ファイナンス学会

研究・専門分野

- ・マクロ経済
- ・銀行法等の金融制度分析
- ・関西景気動向
- ・関西経済の構造分析(CMA)

2月 国際社会の中の日本 日本の中の国際社会



エルドリッジ研究所
代表・政治学博士
ロバート・D・エルドリッジ 氏

出身地

アメリカ合衆国(ニュージャージー州)

学歴

1993年3月 神戸大学大学院法学研究科後期課程 修了

職歴

1999年4月 サントリー文化財団 鳥井フェロー
2001年7月 大阪大学大学院国際公共政策研究科 准教授
2009年10月 在沖米海兵隊太平洋基地政務外交部 次長
2015年4月 エルドリッジ研究所 創立 代表
2016年4月 (兼)グローバル・リスク・ミティゲーション財団 理事
(北東担当)2016年10月(兼)日本戦略研究フォーラム 上席研究員

主な和文著書(一部)

『地方創生と日本の再生』2020年(予定)
『大学改革と地域の連携』2020年(予定)
『人口減少と自衛隊』2019年
『トモダチ作戦』(単著)集英社 2017年
『次の大震災に備えるために』2016年
『だれが沖縄を殺すのか』2016年
『オキナワ論』新潮新書 2016年
『尖閣問題の起源』2015年 他多数

受講者の声

今回の受講を通じ物事の本質を掴むことが重要であると感じました。西先生の実体験を通じ、楽しく受講することが出来ました。情報化社会の中で、ネット・テレビ等から得られる情報を正確に受け止めることが必要と感じました。



リアル会場にて参加させていただきましたが、リモートの方々のご意見も聞き取りやすく、よい研修であったと感じました。



コロナウイルス収束後の取り組みは予断を許さない状況ではあるが、コロナウイルス収束後は、Kokorozasi Schoolで習得した知見と、人脈を活かし、関西経済の発展につながるプロジェクトを、今回の研修を受講した皆様と一緒に実現していきたいと考えている。

新型コロナウイルス対策として、リアルの研修現場では、アクリル板を前と横に設置した上、マイク消毒を徹底して実施し、リモートでの参加者にはプロカメラマンと音響スタッフが現場をつなぎ、一体感ある研修を実現致しました。



「既存の製品やソリューションを改良する漸進的イノベーション」から「新しく市場に対する破壊力を持った製品を投入する革新的イノベーション」へ。Society5.0に向けて、上記のような人財を育成していく教育プロジェクトを立ち上げて取り組むことも必要である。

次のパラダイム、アフターコロナはどんな時代になるのか？未来を見通すことはできないが、1つ確実なのは、住職近接の時代が100年ぶりにやってくるということ。

今後は、郊外で暮らし、チャットやテレビ電話、会議システムなどを使い、郊外で働いたままに都心の本社に出勤するというようなライフスタイルが主流になるであろう。加えて、高齢化により、人々の日常の移動距離は劇的に縮まる事が予想される。

それに伴ない、当然に商業施設の比重も、都心から郊外に軸足を移すだろう。梅田の商業の規模も一気に低下すると思われる。



すべての講師が、仕事を進めていくうえで重要となるのは「パートナー」であると言われていました。ある講師は「仕事を幅広く成果につなげていくためには、人脈の構築が重要」や「仕事はパートナーと共に進めること」といったコメントが何度もありました。

このことから仕事を成果につなげていくためには、メンバーと共に行うだけでなく、幅広い人脈を駆使しなければよりよいものにならないということを理解しました。

今後は、仕事は一人でするものではないということに常に念頭に置き、メンバーと共に切磋琢磨するだけでなく、人脈の構築にも力を注ぎます。

リアルでの研修参加を選択した。WEB出席の方とのコミュニケーションも不都合なく行われており、チャット機能を用いるなど新しい研修の形として良いと感じた。個人的には、研修会のナマの空気を味わいたいので、次回以降もリアルでの研修参加を希望いたします。

Peach Kokorozasi School Plusでの取り組み

2030年に向けて持続可能な未来のためにSDGsを理解し、社会課題に関心を持つことが大切だと考え、常に問題意識を持つことから始めます



3 すべての人に健康と福祉を

健康と幸せ

13 気候変動に具体的な対策を

気候変動問題

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

エネルギー問題

8 働きがいも経済成長も

働きがいや経済成長などのテーマに取り組み、自分なりの考えを持ち、発言ができるようにする

11 住み続けられるまちづくりを

住み続けられる町づくり

5 ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダー平等問題

人間は過去の経験・文化・置かれている状況・環境などに基づいて無意識に情報の条件付けや限定化を行うこと（ヒューリスティック）の結果、バイアスがかかることに十分留意する。その上で、組織を構成する際の多様性の確保、集団内の反対・少数意見の尊重、外部グループとの積極的な交流等を通して、意思決定における客観性・合理性を担保するよう心掛けたい。

私たちはあえて「自分の脳を裏切る」ような思考を積み重ねていかないと新しいイノベーションは生み出せないのではないかと思います。

どの講師も考え方として同じだったのは、「社会起点に立って行動しなければならない」ということでした。これからは、ものごとに着手する際は「世の中の役に立つからやる」という考え方に則しているか、自己起点となっていないかについてよく考えたうえで行動に移していきます。

今回の研修において、外国人から見た日本という点で話を聞いたことで大きな印象を植えつけて頂いた内容であった。特に若い年代での教育という点については、参加者みんなが関心を持った内容であった気がする。「起業家の精神は、幼いうちから長年かけて育てる」「日本に文化を紹介すると外国人は喜ぶ」「日本に貢献したい人が多い」等、私の見解での日本文化に対してイノベーションが起こっていくような感じを受けた。



募集概要

お申し込みについて

定員 20名程度

申込〆切 2022年4月末日

対象 現課長職以上
将来、役員を目指す方 志が高い方

費用 各企業につき
1名 : 88万円
2名 : 165万円
※女性を含む場合は154万円
3名～ : 1名追加につき77万円

(すべて税込価格)

お問い合わせ先

MAIL : kokorozasi@peach-corporation.co.jp

TEL : 06-6448-3666

会場について

ダイビル本館 4階 会議室
大阪府大阪市北区中之島3-6-32

アクセス

- 京阪中之島線「渡辺橋」駅下車 徒歩1分
- 地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅下車 徒歩6分



※ リモートの場合
ビデオ通話アプリ Zoom を使用



〒530-6127 大阪市北区中之島3丁目3番23号 (中之島ダイビル27F)
TEL : 06-6448-3666 FAX : 06-6448-3667
MAIL : kokorozasi@peach-corporation.co.jp

<https://www.peach-corporation.co.jp/>